

綱 領

1. 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期す。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

平成7年
5月25日
発行号
第149号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-6-8
仲和ビル1F
TEL(03)3433-3028
発行責任者
浜崎健蔵



日赤新労第1回中央委員会

平成7年度第1回

中央委員会開催

夏期手当要求額を決定

二・三・五割十一律三万円

五月十四日、十五日の両日、松平三万四千石の歴史ある町、福井市の「シティホテル・フクイ」において、平成七年度第一回中央委員会が開催された。全国から各ブロック選出中央委員及び各単組オブザーバー等八〇余名の参加のもと、今年度「ペア」や夏期手当等について活発な討議が展開され、盛会のうちに無事終了した。

第一日は、部会（組織・教育・調査）と専門部会（病院・血液センター・婦人部）が開催され、それぞれの会場に分かれて、熱心な討議が行われた。部会では、平成七年度の具体的な活動内容を決定。また、専門部会においては、それぞれの施設の抱えている問題点や改善策などについて、意見交換がなされた。

今中央委員会は、昨年に組合結成を果たした福井県赤十字血液センターの地元である福井市で、特別に「血液センター」から川瀬満雄所長にご臨席いただき、祝辞を頂戴した。第二日は、開会宣言に続いて資格審査・成立確認（中央委員三名、委任状四名）がなされ、議長に今度道明氏（名一）が、副議長に西村和典氏（大津日赤）、書記に山崎利幸氏（唐津日赤）が選出された。

審議に先立ち、梅村中央執行委員長が挨拶に立ち、次のように述べた。「今春開は労働者側にとって非常に厳しいものがある。『景気は緩やかな回復途上にある』とした状況下の春闘ではあったが、阪神大震災の影響ももたらされ、円高の影響も相まって、日経の集計によると、平均賃上げ率七・八八％、率にして千二百九十九円と、三割割れの過去最低の賃上げ率となっている。今後、週休二日制が全施設に導入されれば、時短への取り組

みが可能となり、現在の週休三日制（週五日間）に割り振ると四分または九分という半端な数字が出てくるが、この端数処理を当面の目標としていきたいと考えている。今会議では、夏期手当について審議しなればならないが、是非活発な意見を述べていただきたい。」

次に、週休二日制の実施についてであるが、六年度内に実施される施設は、本社及び支部で一〇〇％、病院が二七％、血液センターが七五％で、全体では五六％となる。この週休二日制に対応すべく、新労からも就業規則の改正を強く働きかけた。また、議題である平成七年度「ペア」夏期手当等についても審議され、盛会のうちに無事終了した。

未実施施設（経営難（収入減になる）、看護婦人数の問題、勤務時間の問題、周囲の病院との関連等。（看護婦人数については、増員して基準看護の加算で収益を上げるという考えがあるとの意見あり））導入施設（患者サービスの低下、仕事の密度が高くなったなど。（患者サービス低下の対策として、予約制の導入、午後の診察等の意見あり））

【血液センター部】
①勤務時間について
母体とルームの勤務時間、ロケーション、人事交流等について、現状を報告。
②四週八休について
MAPの期限の問題なども含めて、土・日の採血計画変更等の問題提起。
③GMP改正における問題点
GMP改正に絡む許可更新について現況報告。また、同県内における検査部門等の統合への不安。

【婦人部】
①夜勤体制について
各施設の現状を報告。要求している月六日制については、具体的対策、打開案を出し合って推し進めていく。
②有給休暇について
週休二日制による振休も消化できないのが現実。
各職場間の意見の統括が重要で、有給を取り易い雰囲気作りにも努め、業務の整理や代員の補充、看護部所属のNSの割合を増やす等を実施していく。

【一般経過報告】
今年度の「ペア」交渉の経過等を中心に本部活動報告がなされ、賛成多数で承認された。
【審議事項】
一、平成七年度「ペア」について
本部より、「四現業の調停案を日赤ベースに換算した場合、昨年度の定昇実績二・二三％に「ペア」〇・八％を加えると三・一〇％となり、定昇込みの「ペア」額は一万十円が予想されるが、力強いことになった。
二、各地の名産品の紹介について
機関紙の単組便り等を利用して紹介していくことになった。



夏期手当要求書及び署名簿を本社へ提出

報告事項

《部会》

【組織部】
①単組活動の充実
単組においては、パンフレット等を活用し、組合未加入者のオリエンテーションを開催し、組合員の拡大を図る。また、身近な問題の解決に取り組むことにより、組合員の組合活動への積極的な参加を得られるよう努力する。
②オルグ活動の強化
現在、本部が中心となって組合未組織施設へのオルグを行っているが、各ブロックの組織担当中央委員とも緊密に情報交換を行い、組織の拡充に努める。

【教育部】
①ブロック初心者研修会
六月二十四日（土）二十五日（日）、千葉市（パティホテル）において、宇都宮大学講師の松岡二郎氏に、労基法を

【調査部】
①夏期・年末手当
②年末年始特別出勤手当
③当直手当
④医療費の減免
⑤病院における四週八休制（実質的）の調査
⑥血液の直接配達（待遇等）
⑦旅費規定（前泊扱い等）
⑧外部登用（職種・人数・必要理由等）
⑨託児所の内容（保育数・二四時間保育・食事等）

【専門部会】
①四週八休制（週休二日制）について
各施設の実施状況と問題点について

【第二ブロック】
◎長根潤一（八戸日赤）◎教宣
◎盛山和臣（盛岡日赤）◎組織
◎澤田浩幸（福島血セ）◎調査
◎高見一成（新潟血セ）◎調査

【第三ブロック】
◎小林一八（飯山日赤）◎教宣
◎今度道明（名一日赤）◎組織
◎恒川浩三郎（日赤）◎調査
◎廣瀬公人（名一日赤）◎調査

【第四ブロック】
◎西村和典（大津日赤）◎組織
◎川田進一（足利日赤）◎教宣
◎内田浩（前橋日赤）◎調査
◎萩原健（原町日赤）◎組織
◎桑野日赤（小室勝彦）◎組織
◎木下忠晴（浜松日赤）◎組織
◎武井浩充（茨城血セ）◎調査
◎高貴洋（千葉血セ）◎調査

【第五ブロック】
◎小寺 悟（鳥取日赤）◎調査
◎井口祥三郎（岡山日赤）◎教宣
◎武郷 徹（三原日赤）◎調査
◎中井 勉（高松日赤）◎教宣
◎近藤修康（岡山血セ）◎組織
◎佐賀克己（徳島血セ）◎組織

【第六ブロック】
◎嶋田三賢佐（筑前山田）◎組織
◎山崎利幸（唐津日赤）◎教宣

【機関紙「日赤新労」をより親しみやすい紙面にし、

【熱心な討議が行われた血液センター部会



熱心な討議が行われた血液センター部会

